



第76回卒業証書授与式

昨日、卒業式が挙行され、3年生131名が地域とともにある浅江中学校を巣立っていきました。

式の中の答辞で、3年生代表の山根優依さんが

「3年前、清々しい初夏を迎えた5月25日に、私たちはこの浅江中学校の門をくぐりました。新型コロナウイルスの影響で、小学校の卒業式も中学校の入学式も延期。自粛期間において、友だちに会えない寂しさを噛み締めました……」

このフレーズが聞こえてきた時、目の前に立派な姿で凛とした態度で起立している3年生を、一層愛おしく感じました。新型コロナウイルスのため、かつてない逆境の中で入学することとなり、その後もさまざまな規制、制限のある中での学校生活を送ってきた3年生です。それでも、くじけることなく、押し寄せる課題や問題をみごとにみんなで乗り越え、「できることをできる形で実行する!!」を具現化した3年生です。

そしていよいよ卒業式。これまで常にマスクの着用を求められてきた3年間でしたが、この日は、「マスクなしを基本」とすることができました。3年生、在校生のたくさんの清々しい素顔がとても新鮮に感じ、これからのアフターコロナをみんなで一步一步進んでいきたいと、あらためて決意することができたような気がします。

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます!!



頼もしい在校生

卒業式に向けた準備・片付け等で、1、2年生の活躍が際立っていました。準備も片付けも、作業予定時間よりはやく終了しました。テキパキと作業する姿がとても印象的で、自分の作業が終わると「次は何をしましょうか?」と積極的な発言も飛び交っていました。設置されたパイプ椅子も寸分の狂いもなく、掃除に至っては、細部にわたって丁寧に行っていました(右写真は一例:トイレペーパーの先までこだわって)。

当然、式の最中の所作、合唱の歌声についても、抜群でした。合唱を指導してきた大富先生も「今日の合唱はとても良かった(^)」と笑顔で話していました。卒業式を終えた職員室内では、3年生の先生方から、素晴らしい式にするために準備・片付けをしてくれた在校生に対するお礼、感謝の言葉が、1、2年生の先生方に伝えられていました。



3年生のトイレのすべてがこのような状態でした。



3年主任の青木先生から
在校生の皆さんへ

在校生のみなさん。3年生の卒業式に向けて、たくさんの準備をありがとうございました。体育館の会場準備、受付、看板、祝電等の掲示、校舎内外の清掃、3年生の教室の装飾、どれも細部まで丁寧に作業されたことがうかがえ、みなさんのおかげで厳粛な雰囲気のある卒業式になり、卒業生にとっても保護者の皆様にとっても心に残る1日となりました。式に参加する姿勢、卒業生への真剣なまなざし、卒業生に届ける歌声、どれをとっても心動かされるものでした。みなさんの思いを卒業生は背中できっかりと感じ取ったことと思います。卒業式の成功は、みなさんの支えのおかげです。自分たちのやり遂げたことを誇りに思ってください。この経験は、みなさんのこれからの学校生活に必ず生かされます。卒業式を通して、卒業生だけでなく、みなさん自身も大きな一歩を踏み出しています。進級後のさらなる成長・活躍を楽しみにしています。本当にありがとうございました。